TOKYO ink

2026年11月6日

各　位

会社名　東京インキ株式会社
代表者名　代表取締役社長　堀川　聡
（コード番号 4635 東証スタンダード市場）
問合せ先　取締役・常務執行役員
管理部門長、IR統括　中村　真次
（TEL．03－5902－7652）

2027年３月期第２四半期の業績予想値と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正並びに剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

2026年８月５日に公表いたしました2027年３月期第２四半期（中間期）の業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、2026年８月５日に公表いたしました2027年３月期通期連結業績予想の修正並びに剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正について決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．連結業績予想値と実績値との差異について

（１）2027年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想値と実績値との差異

（2026年４月１日～2026年９月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	１株当たり中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	26,500	1,300	1,430	1,400	112.05
実績値（B）	26,796	1,760	1,856	1,570	126.04
増減額（B－A）	296	460	426	170	
増減率（%）	1.1	35.4	29.8	12.2	
（ご参考）前期第２四半期実績（2026年３月期第２四半期）	24,336	1,096	1,203	785	61.73

注）2026年１月１日付で普通株式１株につき５株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「１株当たり中間純利益」を算定しております。

（２）差異の理由

当中間連結会計期間において、中東情勢の不安定化を端緒とした原油市況の影響による原材料価格の高止まりや、サプライヤー各社による価格改定が続く中、当社グループは、収益確保を最重要課題と位置付け、適正な販売価格の確保に取り組みました。また、中期経営計画「TOKYOink 2027」に掲げる各種施策を推進し、各事業における製品ポートフォリオの最適化や高付加価値製品へのシフトを進めてまいりました。

このような状況のもと、インキ事業では、重要顧客への販売強化や新規顧客の獲得に努めるとともに、グラビアインキにおいて機能性インキ・コート剤やメディカルパッケージ向け製品を中心に販売が好調に推移しました。化成品事業では、モビリティ用途向け製品の販売が堅調に推移したことに加え、機能性包材用途向け製品など高付加価値の自社製品の販売が好調に推移し、収

益性の向上に寄与しました。加工品事業では、ネトロン®（注）の水処理用資材の販売が回復したほか、土木資材の販売が堅調に推移しました。また、一部製品において、下期に見込んでいた需要の一部が前倒しとなり、販売が増加しました。

これらの結果、売上高は、各事業における販売の伸長や一部需要の前倒し等により、前回予想を上回りました。利益は、原材料の仕入価格上昇による売上原価への影響が前回予想時の想定に比べ限定的であったことに加え、適正な販売価格の確保や高付加価値製品の販売拡大により、収益性の高い製品の販売構成比が高まったことから、収益性が想定を上回って推移し、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する中間純利益は前回予想を大きく上回りました。

（注）ネトロン®は三井化学株式会社の登録商標です。

２．通期連結業績予想の修正について

（１）2027 年３月期通期連結業績予想値の修正（2026 年４月１日～2027 年３月 31 日）

	売　上　高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 54,300	百万円 2,700	百万円 2,900	百万円 2,650	円 銭 212.09
今回発表予想（B）	54,500	3,650	3,850	3,300	268.94
増減額（B－A）	200	950	950	650	
増減率（%）	0.4	35.2	32.8	24.5	
(ご参考)前期実績 (2026 年３月期)	49,926	2,217	2,454	1,867	147.44

注）当社は、2026 年８月５日開催の取締役会において、自己株式の取得について決議いたしました。2027 年３月期の連結業績予想における「１株当たり当期純利益」については、当該自己株式の取得を考慮しております。なお、当該自己株式の取得については、2026 年８月５日公表の「自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ」をご覧ください。

（２）修正の理由

通期連結業績予想につきましては、下期のインキ事業では、オフセットインキにおいて年末需要期に向けた販売の増加を見込むほか、グラビアインキについても、機能性インキ・コート剤やメディカルパッケージ向け製品等の高付加価値製品を中心に、引き続き収益への寄与を見込んでおります。化成品事業では、モビリティ用途や機能性包材用途向け製品等の販売が、引き続き堅調に推移することを見込むとともに、収益性を重視した製品ポートフォリオの最適化を進め、低収益製品の整理や高付加価値製品へのシフトに取り組んでまいります。加工品事業では、ネトロン®の販売の増加を見込むほか、土木資材についても引き続き堅調な販売を見込んでおります。

一方、下期では、原材料コストの上昇による業績への影響が上期に比べ大きくなることに加え、市況の変化に伴う販売価格への影響や、一部需要の前倒しによる影響も想定しておりますが、高付加価値製品の販売拡大等による収益への寄与を見込んでおります。これらを踏まえ、第２四半期（中間期）までの業績および足元の事業環境を総合的に勘案し、通期連結業績予想を上方修正いたします。

３．剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想の修正について

（１）剰余金の配当(中間配当)の内容

	決定額	直近の配当予想 (2026 年８月５日)	前期実績 (2026 年３月期　中間)
基準日	2026 年９月 30 日	同左	2025 年９月 30 日
１株当たり配当金	55 円 00 銭	50 円 00 銭	130 円 00 銭
配当金の総額	690 百万円	－	328 百万円
効力発生日	2026 年 12 月２日	－	2025 年 12 月２日
配当原資	利益剰余金	－	利益剰余金

（２）2027 年３月期期末配当予想の修正

	１株当たり配当金		
	中間	期末	合計
前回予想	50 円 00 銭	45 円 00 銭	95 円 00 銭
今回修正予想		60 円 00 銭	115 円 00 銭
当期実績	55 円 00 銭		
(ご参考)前期実績 (2026 年３月期)	130 円 00 銭	37 円 00 銭	－

注）2026 年１月１日付で普通株式１株につき５株の割合で株式分割を行っております。前期実績の中間配当金につきましては、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。当該株式分割後の基準で換算した場合の中間配当金における１株当たり配当金の額は 26 円 00 銭となり、１株当たりの年間配当金の額は 63 円 00 銭となります。

（３）修正の理由

当社は、株主価値を中長期的に高めるために、持続的な成長が必要と考え、「資本効率の向上」、「強固な財務基盤の確保」、「株主還元」の３つのバランスを取ることを資本政策の基本としており、安定的かつ継続的な配当実施を基本方針としております。この基本方針を前提とし、配当性向 40%以上または DOE1.0%以上とする配当方針を策定しております。

上記配当方針を踏まえ、2027 年３月期の中間配当金につきましては、１株当たり 55 円（前回予想比５円増配、株式分割後換算ベースで前期比 29 円増配）とすることといたしました。

また、期末配当予想につきましても、今回の業績予想の修正を踏まえ、株主還元の充実および資本効率の向上を図る観点から、１株当たり 60 円（前回予想比 15 円増配、前期比 23 円増配）に修正いたします。これにより、年間配当金は１株当たり 115 円（前回予想比 20 円増配、株式分割後換算ベースで前期比 52 円増配）となります。

（注）上記予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の実績等は、様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以　上